

平成29年度 第2回健康おかざき21計画推進協議会 会議録

日時:平成30年2月7日(水) 午後1時30分～3時00分

場所:岡崎げんき館 1階 多目的室

出席委員:安藤委員(議長) 浅田委員 阿部委員 市川委員 太田(憲)委員 太田(義)委員
小原委員 月東委員 近藤委員 高木委員 武田委員 鳥田委員 矢野委員
横山委員

欠席委員:河津委員

傍聴者:なし

事務局:保健部長 柴田 保健所長 服部 保健部次長兼保健企画課長 中根
保健部次長兼生活衛生課長 糟谷 健康増進課長 片岡 健康増進課副課長 坂田
健康増進課健康増進係長 青山 健康増進課母子保健1係長 山本
健康増進課母子保健2係長 鈴木 健康増進課精神・難病係長 天野
他健康増進課職員4名

内容:開会

部長挨拶

議題

- 1 作業部会での検討内容と平成30年度の取組(案)
- 2 メンタルヘルスに関する市民意識調査結果
- 3 中間評価の実施について

保健所長挨拶

閉会

議題1 作業部会での検討内容と平成30年度の取組(案)

議長	議題1「作業部会での検討内容と平成30年度の取組(案)」、作業部会で検討を行った分野について説明を行う。
事務局	資料1「作業部会での検討内容と平成30年度の取組(案)」に基づき説明。
議長	イオンモールウォーキングに新たな参加者を取り込むための仕掛けについて、意見をいただきたい。
委員	9月から月1回、毎回参加しているが、顔を知っている方の参加がほとんどで、リピーターが多い印象がある。最初はあんなところで歩くのかと思ったが、意外と歩ける。イベント時の月1回だけではなく、何回でも行っていただいて、それを習慣にしてもらうのが一番だと考えている。20年くらい前に湯浅先生が、全天候型の地下街を歩くことがよいとすすめていたが、それがイオンでもできるようになったのだと思った。参加者からは、「暑くなく寒くなく良い。」と好評で、良いイベントだと感じている。広報に載せれば、ある程度人は来ると思うが、イベント以外の時でも習慣づけてもらえるとよい。混雑する土日は避けた方がよい。コースを決めて、チェックポイントを作って実施しているが、迷子が続出している。しかし、歩くことが目的なので、迷子になることでたくさん歩いてもらうことにはつながっている。知人を連れて来てもらう等、人を増やしていくことが大切であると思

	う。健康づくりリーダーは会員数 50 名だが、健康づくりリーダー会員の家族やロコミでの参加が増えるとういと考えている。
議長	食塩摂取量の減少への取組としてあげられている「(仮)旨味そ汁」とはどのようなものか、説明をお願いしたい。
事務局	国民健康栄養調査の結果からも、味噌汁が食卓にあがる家庭が多いが、味噌汁の塩分量は家庭によって差がある。減塩味噌汁はおいしそうでなく、取り組みにくい面がある。そこで、出汁の旨み、野菜の甘みや旨み、きのこ・あげの旨み、牛乳のこくなど、家庭で実践できる様々な旨みを取り入れた味噌汁のメニューを、栄養士を中心に考え、市民に提案していきたいと考えている。「旨味そ汁」の定義が定まってきたら、飲食店でも活用していただけるように提案し、様々なところで利用できる機会が増えればと考えている。
議長	この「旨味そ汁」の取組について、意見ををお願いしたい。
委員	野菜をたくさん摂って、尚且つ塩分を減らすというのは、実際非常に難しい。たくさん野菜を摂ると塩分も高くなるということが往々にしてある。味噌汁を薄くして、野菜をたくさん摂るということを推進するのはよい。味噌汁を摂る習慣が減っている中で、味噌汁をどう摂取してもらうか、旨みをどう取るかが重要になってくる。岡崎は八丁味噌が有名なので、色の濃い八丁味噌の塩分を少なくして飲むことが重要。汁の色が薄いと、視覚的に塩分を薄く感じてしまうため、色は濃い方がよく、旨みがあって塩分が少ないのがよい。ミルク味噌汁などで塩分を減らすこともよい方法である。大きめの器で、野菜を多く、汁を少なくすることも推進するとうい考える。
事務局	八丁味噌の利用は「岡崎ブランド」を考えていく上で重要だと考えている。また、味噌汁というと和食のイメージだが、味噌スープなど洋風のイメージでも考えていきたい。
議長	受動喫煙防止について、職場の禁煙について会議所や会員の事業者等の状況を伺いたい。
委員	企業においても健康経営という言葉が取り上げられるようになってきた。喫煙場所の制約を設ける企業も増えている。サービス業については、サービスの低下につながらない範囲で喫煙場所を設けており、喫煙場所をゼロにするには、まだステップが必要になると思う。
議長	勤務時間中の喫煙について、喫煙者は喫煙している時間も給料が支払われていることになる。このことについて、経営者側はどのように思っているのか伺いたい。
委員	商工会議所では単価計算はしていない。生産性の向上や喫煙場所での情報交換という側面もあるが、喫煙者と非喫煙者で不公平感はあるかもしれない。喫煙者は減っているので、禁煙の風潮がもっと高まってくると、変わるのではないかと考える。
議長	議題1「作業部会での検討内容と平成30年度取組(案)」、その他の分野について説明を行う。
事務局	資料1「その他の分野の平成30年度取組(案)」に基づき説明。
議長	事務局の説明について、意見・質問をいただきたい。
委員	がん検診の精検未把握率とは何を指すのか。
事務局	精密検査を受診の有無は、精検受診勧奨業務を委託している医師会による調査と保健師による電話勧奨に把握している。未把握率とは、精密検査を受けたか受けていないかが全くわからない人の割合を指す。
委員	糖尿病の血糖コントロール不良者とは何か。

事務局	受診しているにも関わらず、HbA1cの値が良くなく、血糖コントロールがされていない者を示す。
委員	休肝日について、推奨されている定義は何か。
事務局	厚生労働省は、2日連続ではなく、週のなかで2回お酒を飲まない日を作るということを推奨している。
議長	アルコールに関して、効果的な啓発の方法などについて、意見ををお願いしたい。
委員	妊娠・授乳サポート薬剤師の活動の一環で、毎月第1土曜日の体験型妊婦教室に、4月から薬剤師を派遣する。妊娠・授乳中の服薬について不安になることも多く、それらの啓発に合わせて、妊娠中の飲酒はだめだということを伝えていければと考えている。げんき館情報誌「げんき！ひろがる。」は最終号となるが、「げんきはっしん！」は今後も定期的に発行する。今号には、岡崎市食生活改善協議会の愛知県知事賞受賞も掲載されている。スマート・ウェルネス・シティの講演会にも、是非参加をしてほしい。
議長	歯と口の健康について、歯科医師会としての取組や普段の診療で感じていることなど、意見ををお願いしたい。
委員	歯と口の健康分野の課題について、事務局に伺いたい。歯周疾患健診を受診した人は、かかりつけ医がある人が多く、健康管理につながっている印象がある。受診していない人はどうかという視点からみると、課題は「歯周疾患健診の受診が定期的な健康管理につながっているか」ではなく、「歯周疾患健診を受診する者を増やす」ということではないかと思うが、いかがか。
事務局	医療機関での個別型健診は、定期的な受診につながっていると感じている。一方で、センター型健診を受ける人はかかりつけ医がないかたが多く、受診者数は増えているが、その後の定期的な受診につながっているかを心配している。センター健診型の人を定期的な受診につなげていくことと、未受診者を掘り起こしていくこと、この両方が課題だと考えている。
委員	センター型健診を受ける人は、かかりつけ医はあるが、セカンドオピニオンを希望している人が多い印象があるので、それは違うのではないか。 最近、口の健康が全身の健康につながることや、口腔ケアによる誤嚥性肺炎の予防などをマスコミが取り上げるようになったことが、健診受診増加の追い風の1つになっている。もう1つは、今年から始まった口腔がん検診があげられる。歯周疾患健診を受けないと口腔がん検診が受けられないことから受診者が増えており、当初の想定は 80 人程度だったが、あっという間に希望者が 300 人を超えた。口腔がん検診を通じて、歯周疾患健診の受診率も上がればと考えている。

議題2 メンタルヘルスに関する市民意識調査結果

議長	議題2「メンタルヘルスに関する市民意識調査結果」について説明を行う。
事務局	資料1「メンタルヘルスに関する市民意識調査結果」に基づき説明。

議題3 中間評価の実施について

議長	議題3「中間評価の実施について」説明を行う。
事務局	資料1「中間評価の実施について」及び資料2、資料3に基づき説明。
議長	「歩数計」に関する設問を追加したとの説明があったが、設問について意見を伺いたい。

委員	自分はまめチャレンジで歩数を測っているが、一般のかたはなかなか難しいと思う。1日1万歩歩けるとよいが、歩数計をつけてチャレンジしてみると、自分がどのくらい歩いているかが分かる。運動不足のかたにも、歩数計をつけて自分がどのくらい歩いているかを知ってもらうのが良いと思う。運動だけでなく、生活活動でも歩数を稼げる。
議長	歯と口の健康分野のアンケート項目として「噛ミング 30(カミングサンマル)」が追加されたが、この設問について意見を伺いたい。
委員	歯周疾患健診時や2歳児歯科健診時に、個別指導で噛むことの大切さを伝えている。また、健康フェア等で噛むガムを使用し、普段どのくらい噛んでいないかを実感できる体験をしてもらっている。噛むことの大切さを知ってもらうためには、この設問はよいと考える。
議長	市民としてアンケートに答える立場から、アンケート全体について意見を伺いたい。
委員	無関心層への働きかけについての説明があったが、今までのアンケートよりニュアンスが優しく、様々な対象への配慮があると感じる。野菜摂取量についても、アンケートをやりながら自分の生活を振り返り、今後気をつけなければいけないという意識になるように思う。内容も簡単にはなったが、量が多いため、抽選でクオカードをプレゼントするなどの工夫をすると、返信しやすくなるのではないかなと思う。
委員	メール等で回答ができるようになるとういと思うが、いかがか。
事務局	アンケートについては、プロポーザル方式で業者に提案をもらい、業者選定をしていく。回収方法について、行政側だけでは思いつかないアイデアが出てくるのではないかと期待をしている。メールでの回答についても検討をしたが、媒体容量の関係で現状では難しい。業者からよい提案があれば、考えていきたい。
委員	まめ吉のラインスタンプがあるのか。
事務局	ある。問 45 に付け加えたい。
議長	アンケートについて、若い人の目線から意見をお願いしたい。
委員	アンケートはイラストが入っていて見やすい。しかし、パッと見たときにこれだけの量をやる気にならない。初めは良くても後半が辛くなり、回答が適当になる可能性があると考えられる。複数回に分けて実施し、継続して答えてくれた人にはプレゼントをする等の工夫をすると、答えやすいのではないかなと思う。
事務局	クロス集計の関係があり分割実施は難しいが、いただいた意見をもとに委託業者と検討していきたい。 4月から業者選定に入るため、3月末までにアンケートに関する意見をいただきたい。
議長	以上で本日の議題を終了する。